

グラフとネットワーク (第4回)

安藤 和敏

ando@sys.eng.shizuoka.ac.jp

静岡大学工学部

特殊なグラフ

特殊なグラフ

- 完全グラフ

特殊なグラフ

- 完全グラフ
- 2部グラフ

特殊なグラフ

- 完全グラフ
- 2部グラフ
- 道

特殊なグラフ

- 完全グラフ
- 2部グラフ
- 道
- 木

特殊なグラフ

- 完全グラフ
- 2部グラフ
- 道
- 木
- 平面グラフ

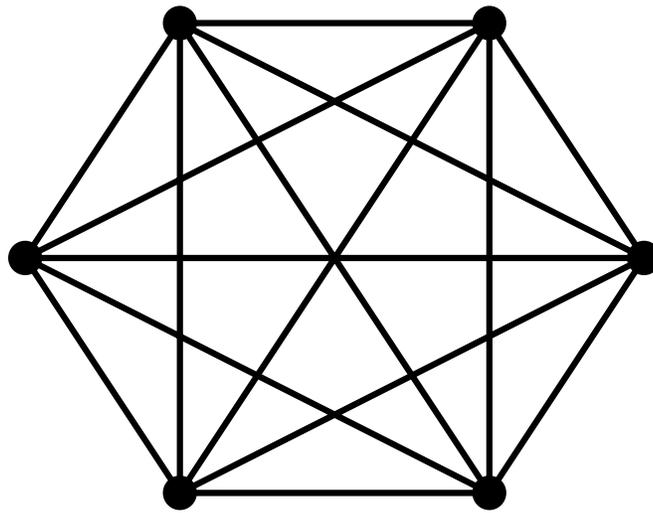
完全グラフ

完全グラフ

自己閉路を持たない無向グラフ $G = (V, A)$ は、任意の相異なる2点に対してそれらを結ぶ枝がちょうど1本存在するとき、**完全グラフ**と呼ばれる。

完全グラフ

自己閉路を持たない無向グラフ $G = (V, A)$ は、任意の相異なる2点に対してそれらを結ぶ枝がちょうど1本存在するとき、**完全グラフ**と呼ばれる。



K_6

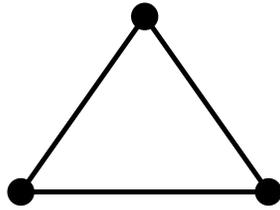
完全グラフ (続き)

完全グラフ (続き)

$|V| = n$ ととき, n 点完全グラフといい, K_n と表す.

完全グラフ (続き)

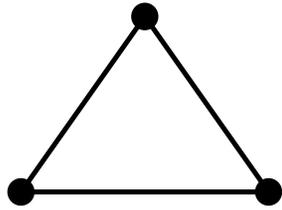
$|V| = n$ ととき, n 点完全グラフといい, K_n と表す.



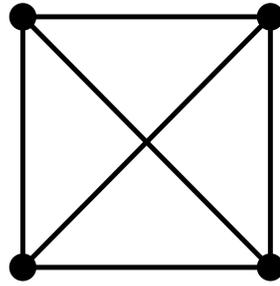
K_3

完全グラフ (続き)

$|V| = n$ ととき, n 点完全グラフといい, K_n と表す.



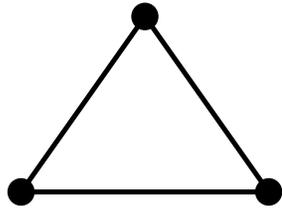
K_3



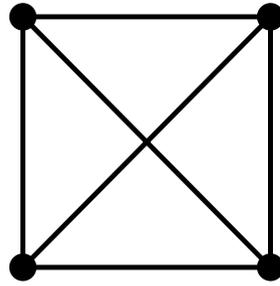
K_4

完全グラフ (続き)

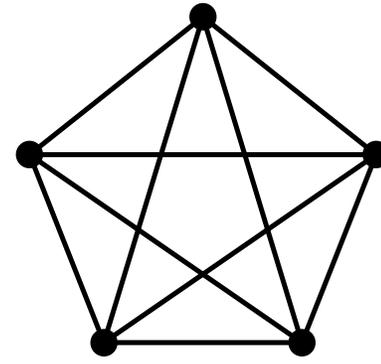
$|V| = n$ ととき, n 点完全グラフといい, K_n と表す.



K_3



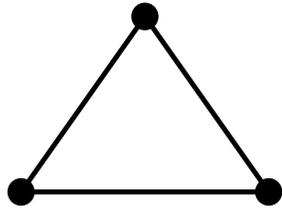
K_4



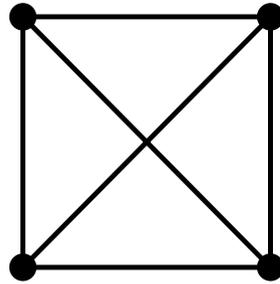
K_5

完全グラフ (続き)

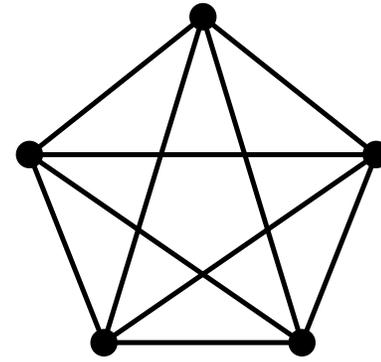
$|V| = n$ ととき, n 点完全グラフといい, K_n と表す.



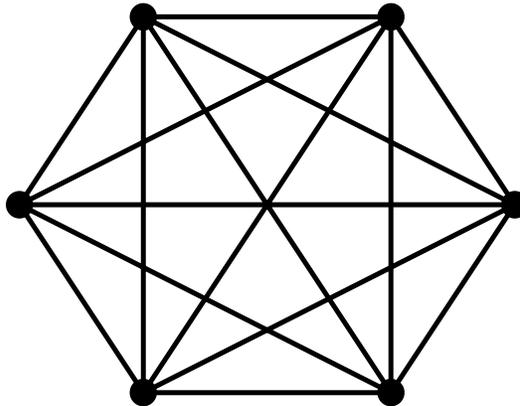
K_3



K_4



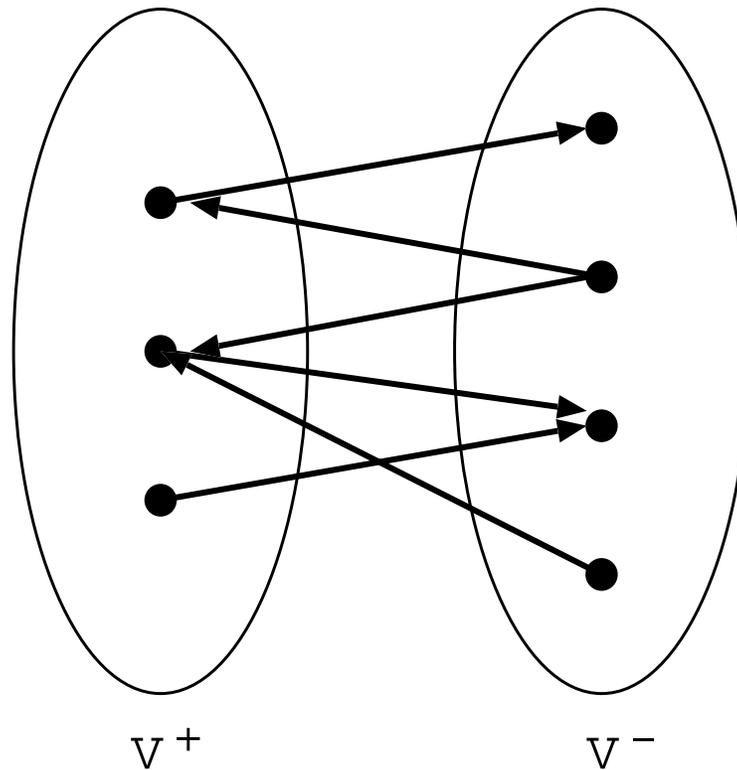
K_5



K_6

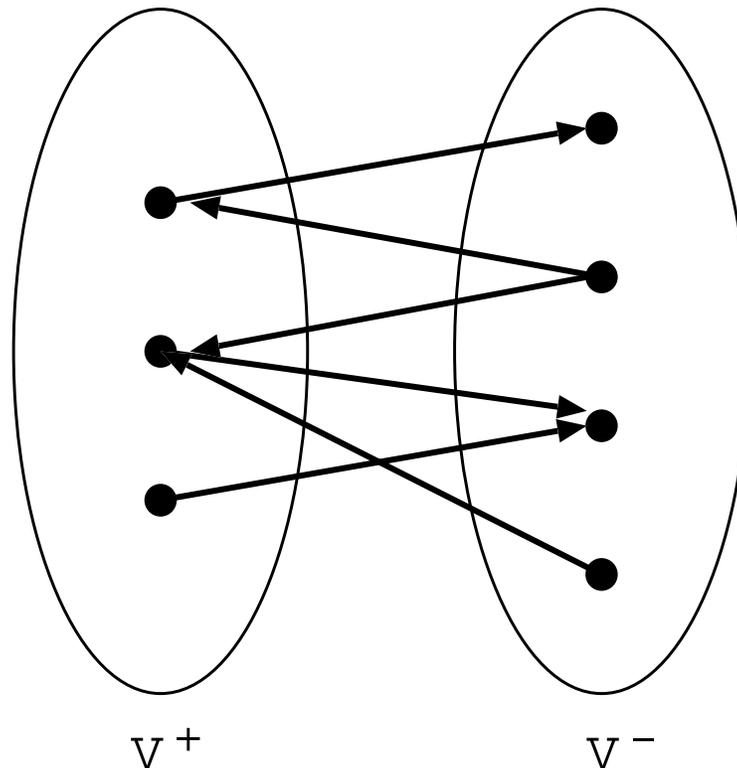
2部グラフ

2部グラフ



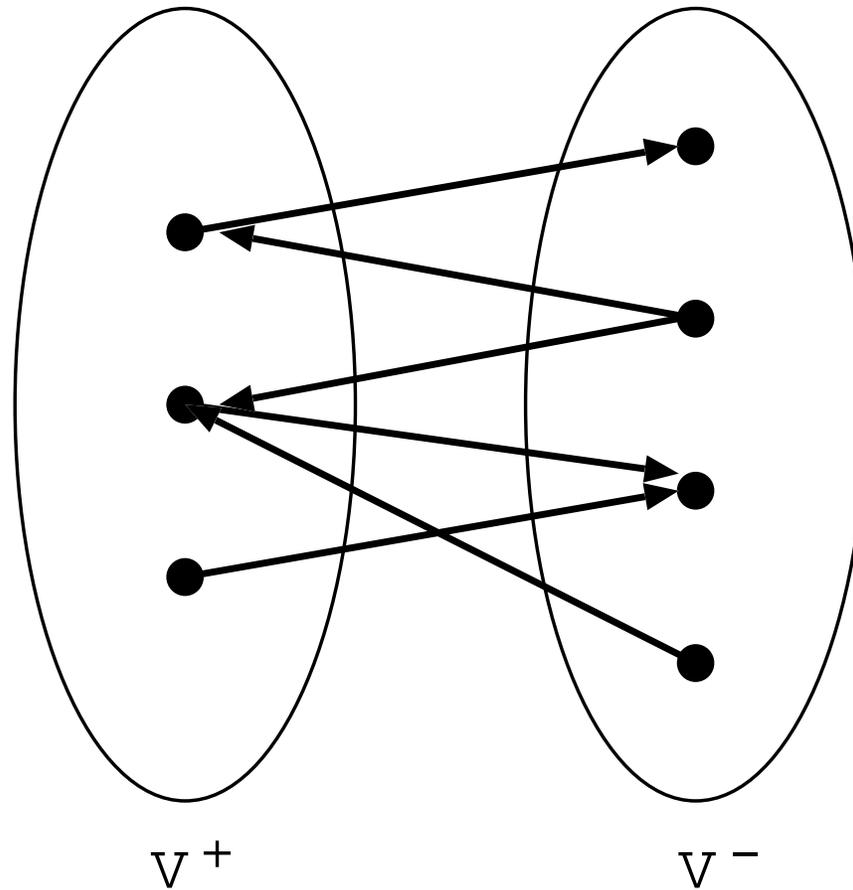
2部グラフ

グラフ $G = (V, A)$ の点集合 V が V^+ と V^- に分割されて、各枝 $a \in A$ が V^+ と V^- の点を結ぶとき、 G を **2部グラフ** と呼んで、 $G = (V^+, V^-; A)$ と表す。

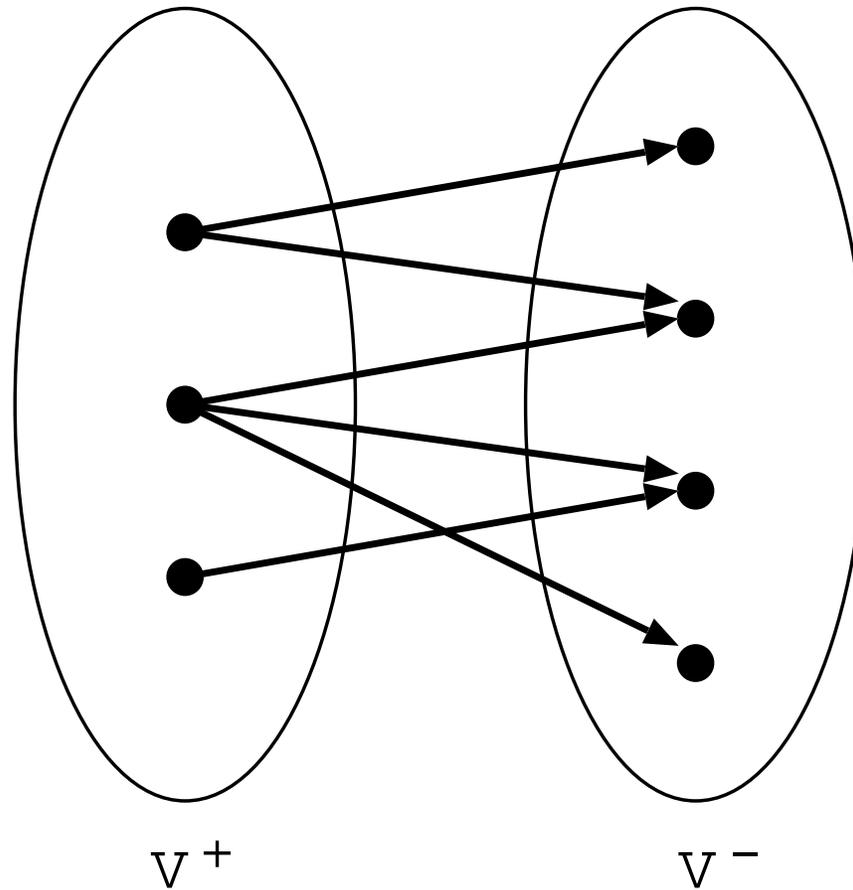


2部グラフ (続き)

2部グラフ (続き)

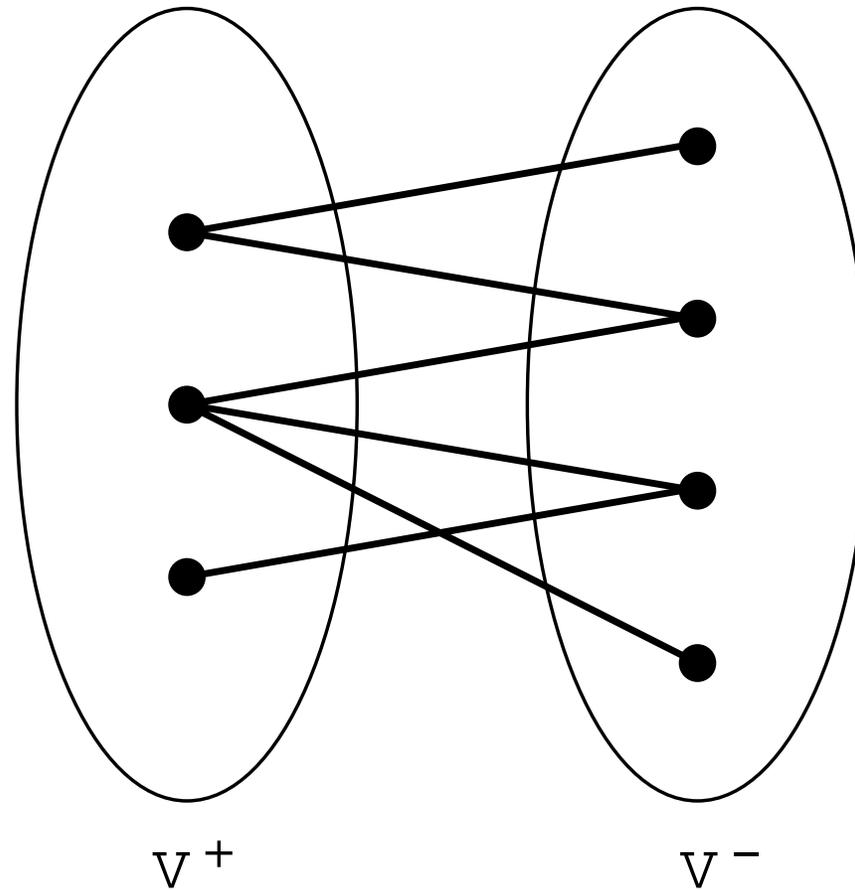


2部グラフ (続き)



枝は V^+ から V^- への向きを持つと仮定する

2部グラフ (続き)



そのように約束すれば, 無向グラフとして描けば十分である

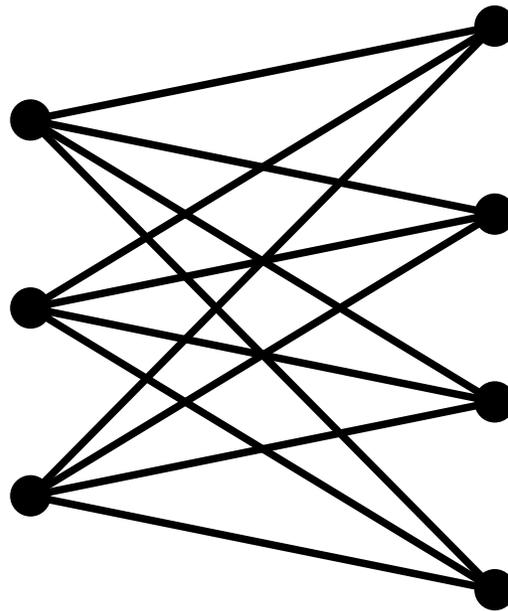
完全2部グラフ

完全2部グラフ

V^+ の任意な点と V^- の任意な点に対して, それらを結ぶ枝がちょうど1本存在するような2部グラフ $G = (V^+, V^-; A)$ を**完全2部グラフ**と呼ぶ.

完全2部グラフ

V^+ の任意な点と V^- の任意な点に対して、それらを結ぶ枝がちょうど1本存在するような2部グラフ $G = (V^+, V^-; A)$ を**完全2部グラフ**と呼ぶ。



$K_{3,4}$

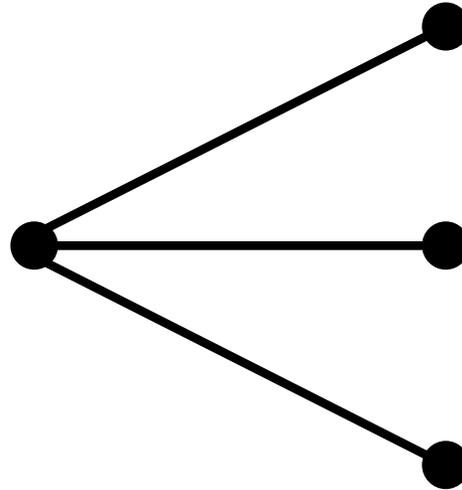
完全2部グラフ(続き)

完全2部グラフ(続き)

また, $|V^+| = m, |V^-| = n$ である完全2部グラフ G を $K_{m,n}$ と表す.

完全2部グラフ(続き)

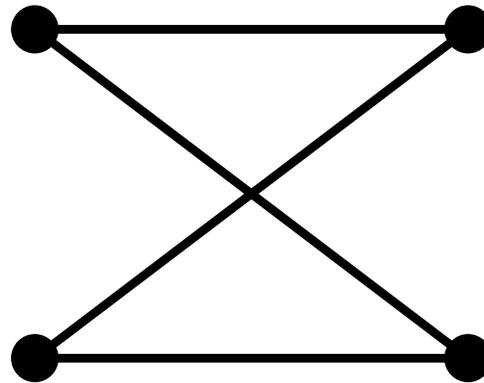
また, $|V^+| = m, |V^-| = n$ である完全2部グラフ G を $K_{m,n}$ と表す.



$K_{1,3}$

完全2部グラフ (続き)

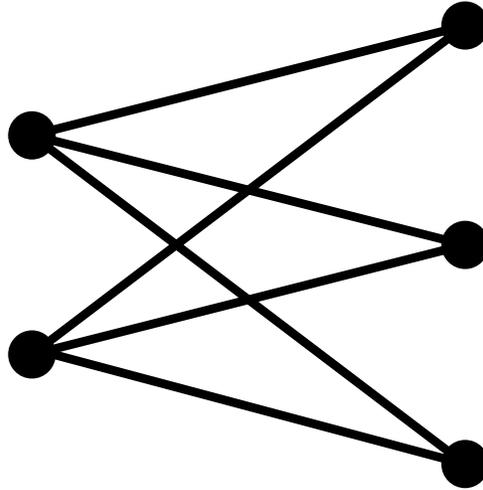
また, $|V^+| = m, |V^-| = n$ である完全2部グラフ G を $K_{m,n}$ と表す.



$K_{2,2}$

完全2部グラフ(続き)

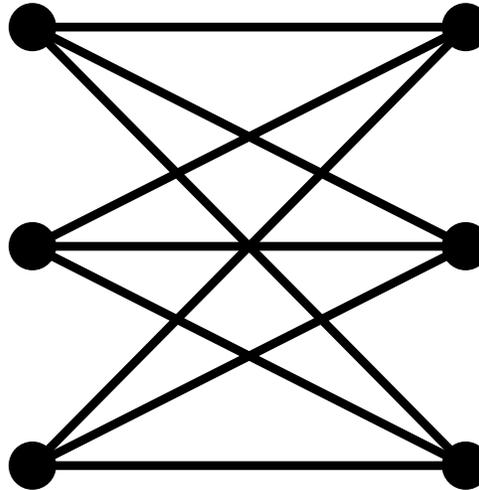
また, $|V^+| = m, |V^-| = n$ である完全2部グラフ G を $K_{m,n}$ と表す.



$K_{2,3}$

完全2部グラフ(続き)

また, $|V^+| = m, |V^-| = n$ である完全2部グラフ G を $K_{m,n}$ と表す.



$K_{3,3}$

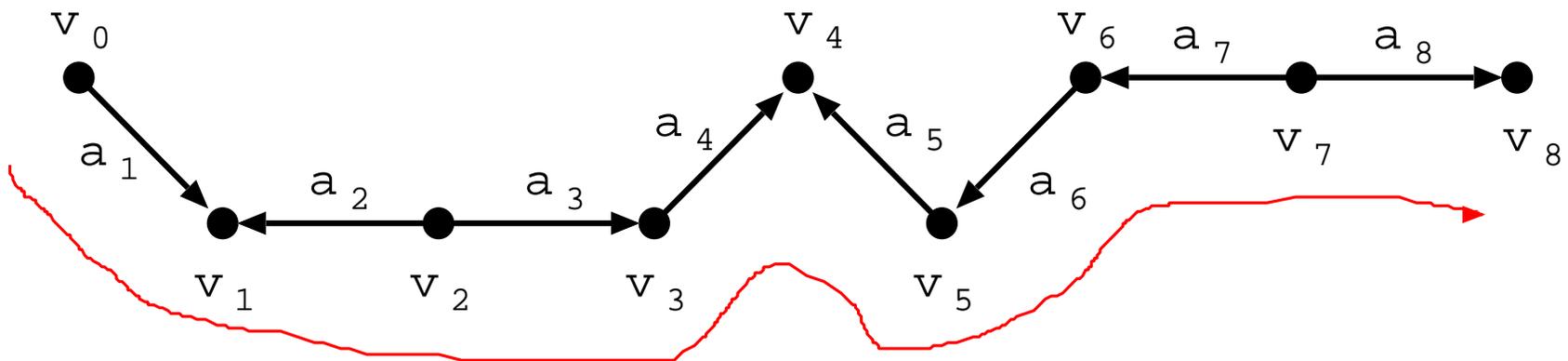
道

道

接続する点と枝の交互列

$$(v_0, a_1, v_1, a_2, v_2, a_3, \dots, a_k, v_k)$$

を道といい, v_0 をその始点, v_k をその終点と呼ぶ.

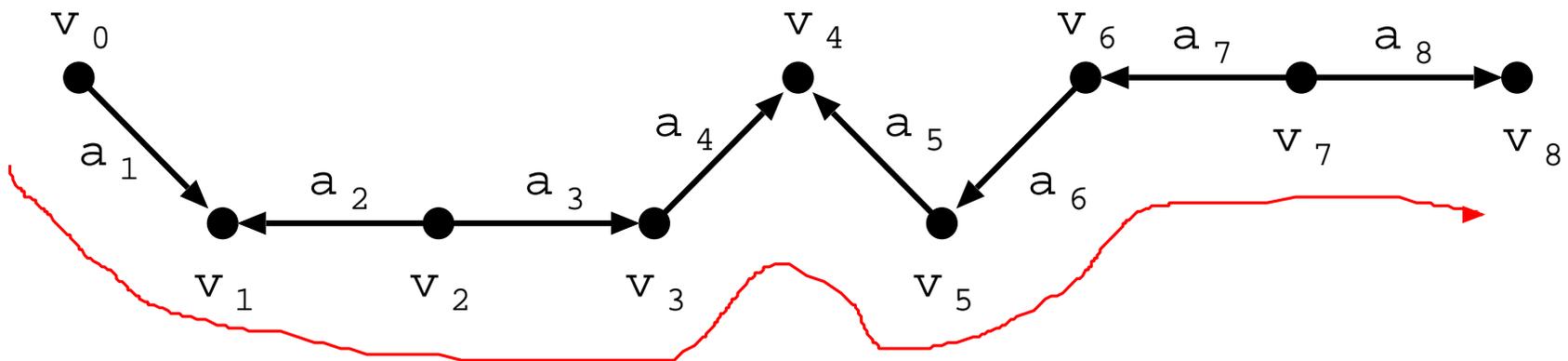


道

接続する点と枝の交互列

$$(v_0, a_1, v_1, a_2, v_2, a_3, \dots, a_k, v_k)$$

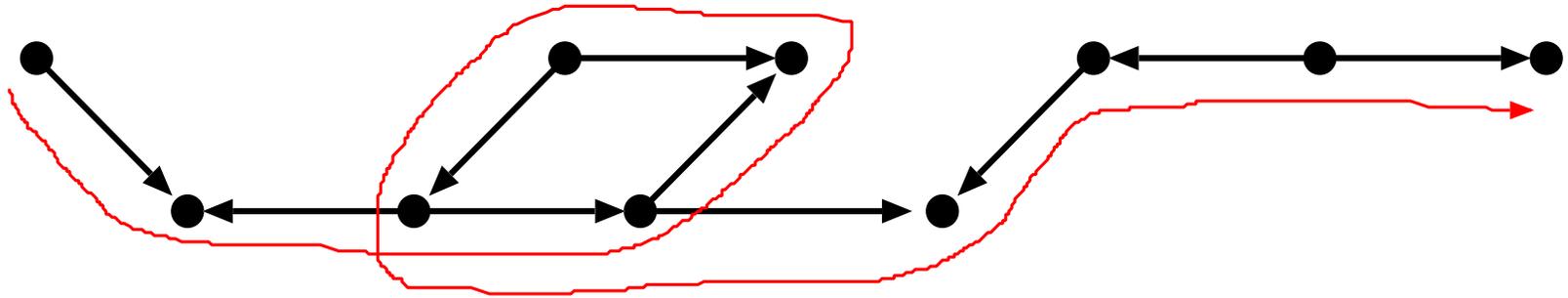
を道といい, v_0 をその始点, v_k をその終点と呼ぶ.



枝の向きは道のたどりかたと無関係である.

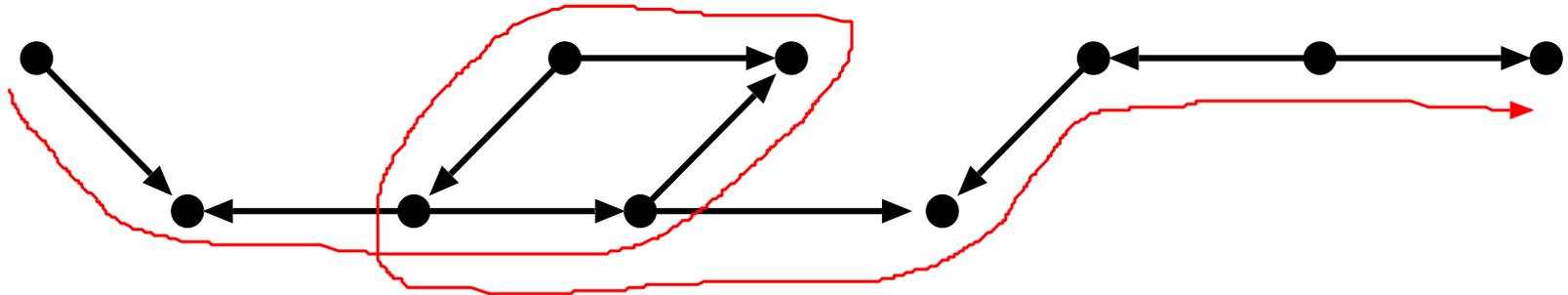
道(続き)

道(続き)

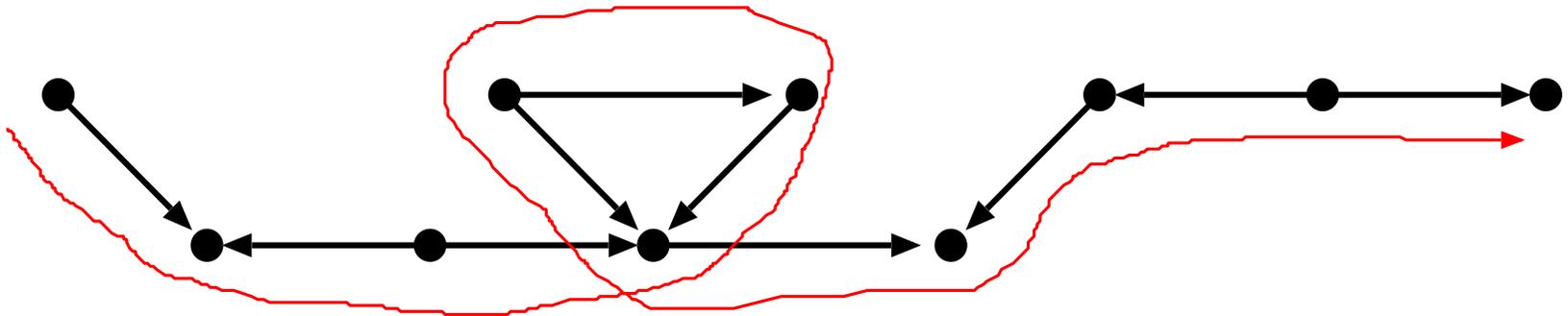


同じ枝を2度通るものも道である。

道(続き)



同じ枝を2度通るものも道である。

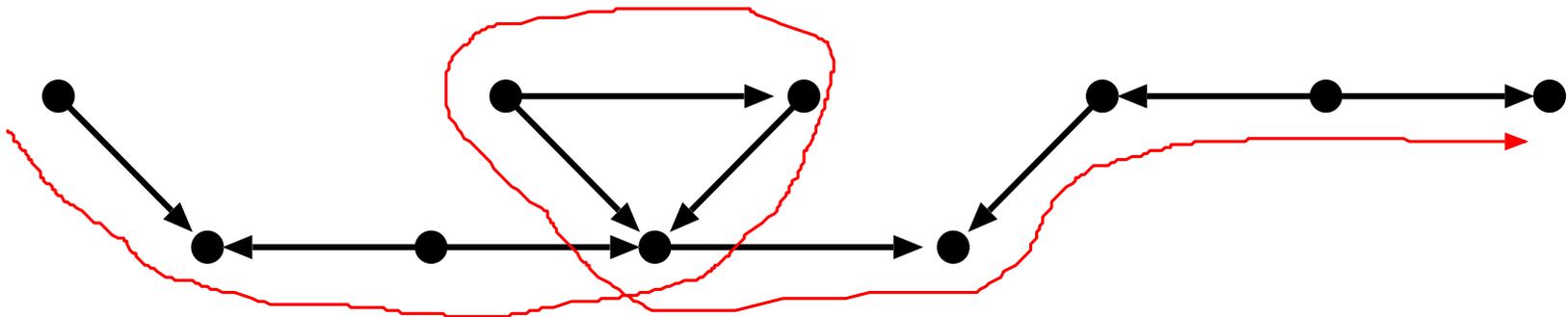


同じ点を2度通るものも道である。

道 (続き)

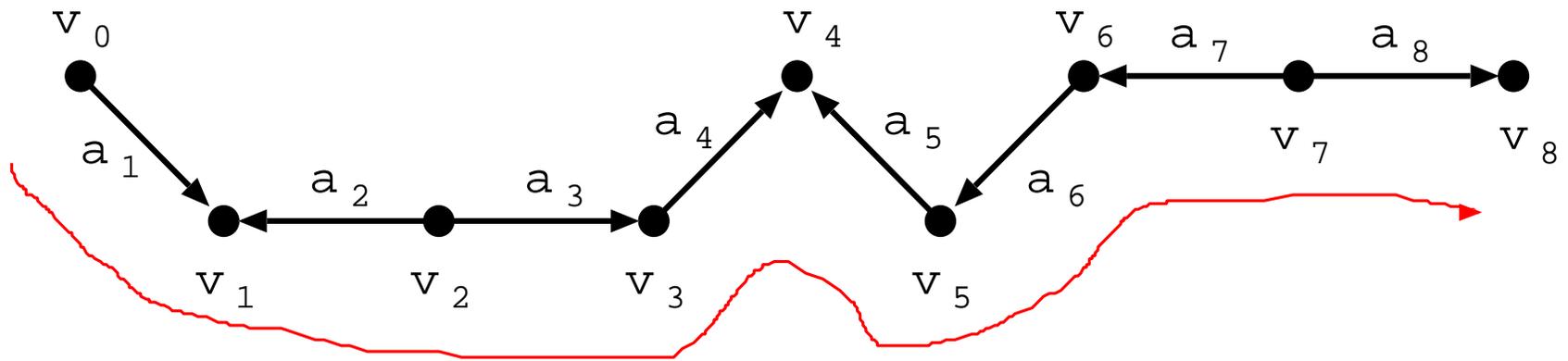
道 (続き)

同じ枝を2度以上通らない道を**単純な道**と呼ぶ。



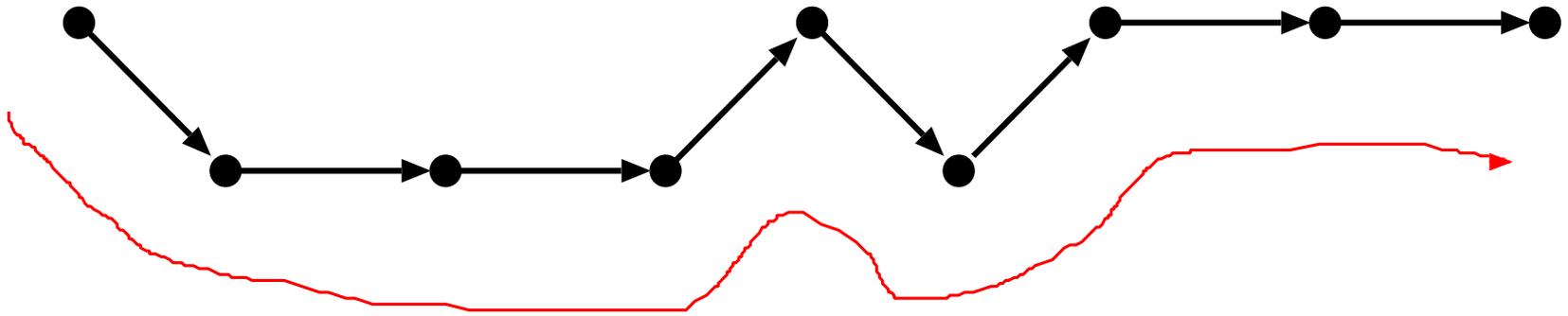
道 (続き)

同じ点を2度以上通らない道を初等的な道と呼ぶ。



有向道

枝の向きが始点から終点へ向いてそろっている道を**有向道**と呼ぶ。



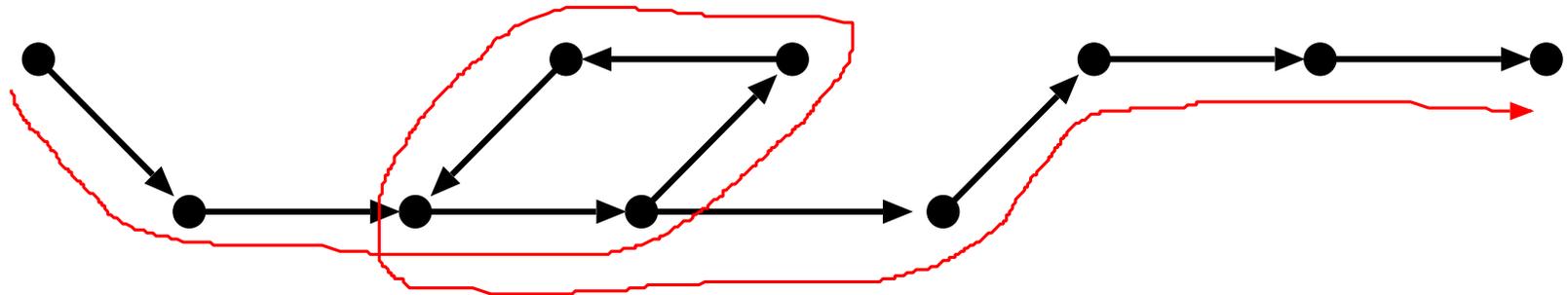
有向道 (続き)

有向道 (続き)

有向道に対しても道の場合と同様に、単純な有向道、初等的な有向道が定義される。

有向道 (続き)

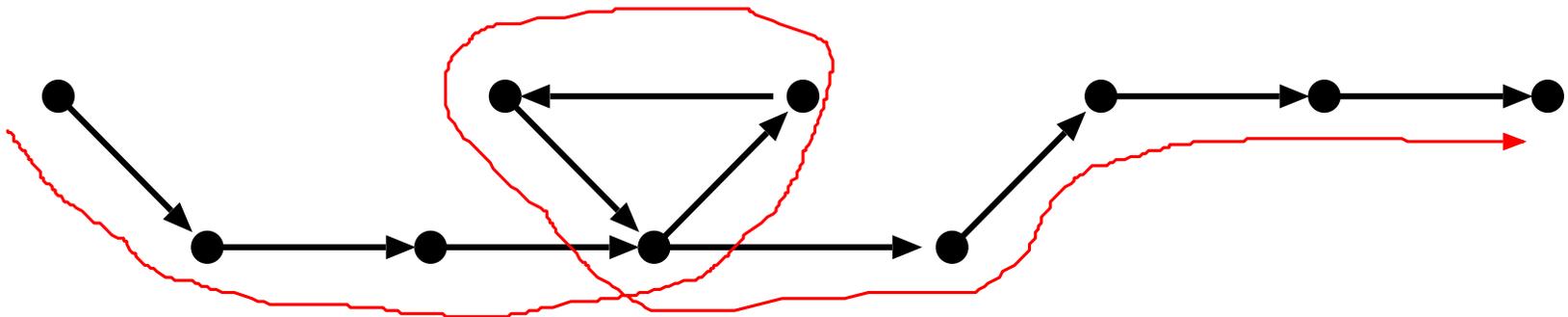
有向道に対しても道の場合と同様に、**単純な有向道**、**初等的な有向道**が定義される。



単純でない有向道

有向道 (続き)

有向道に対しても道の場合と同様に、**単純な有向道**、**初等的な有向道**が定義される。

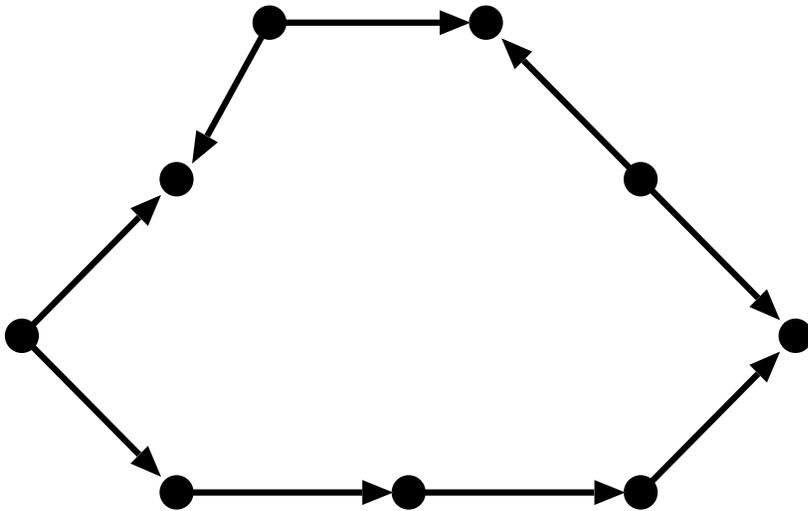


単純であるが初等的でない有向道

閉路と有向閉路

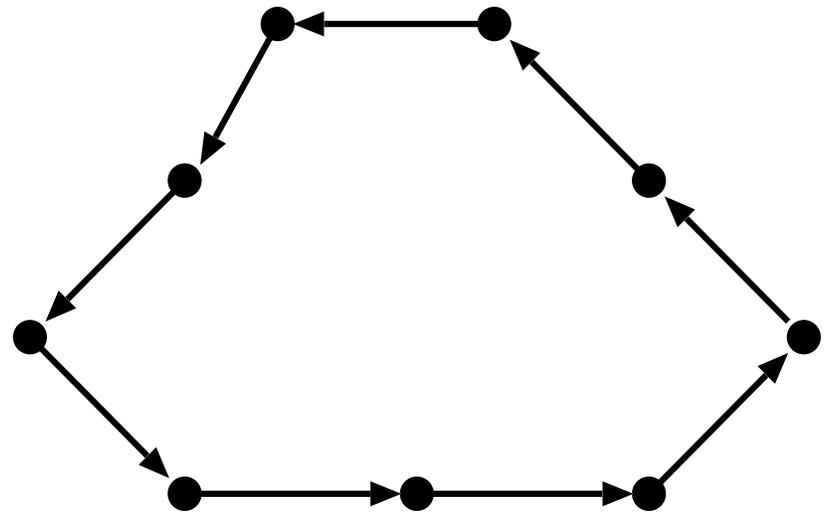
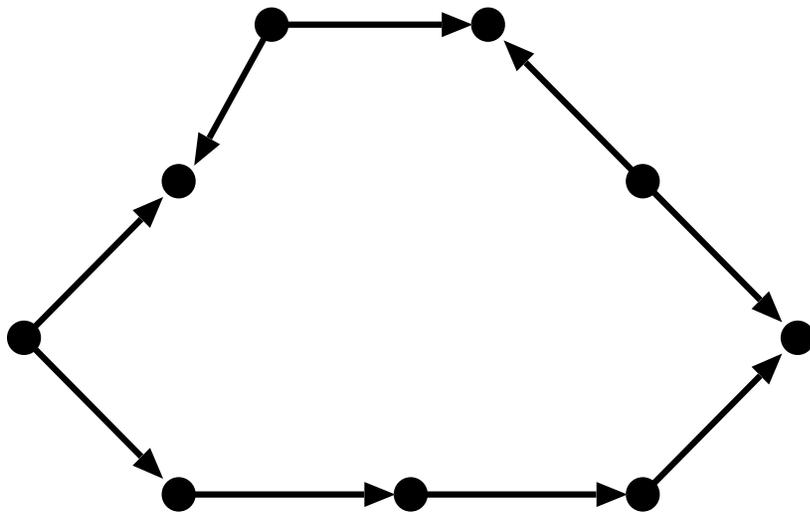
閉路と有向閉路

始点と終点が一一致している道を閉路と呼ぶ。



閉路と有向閉路

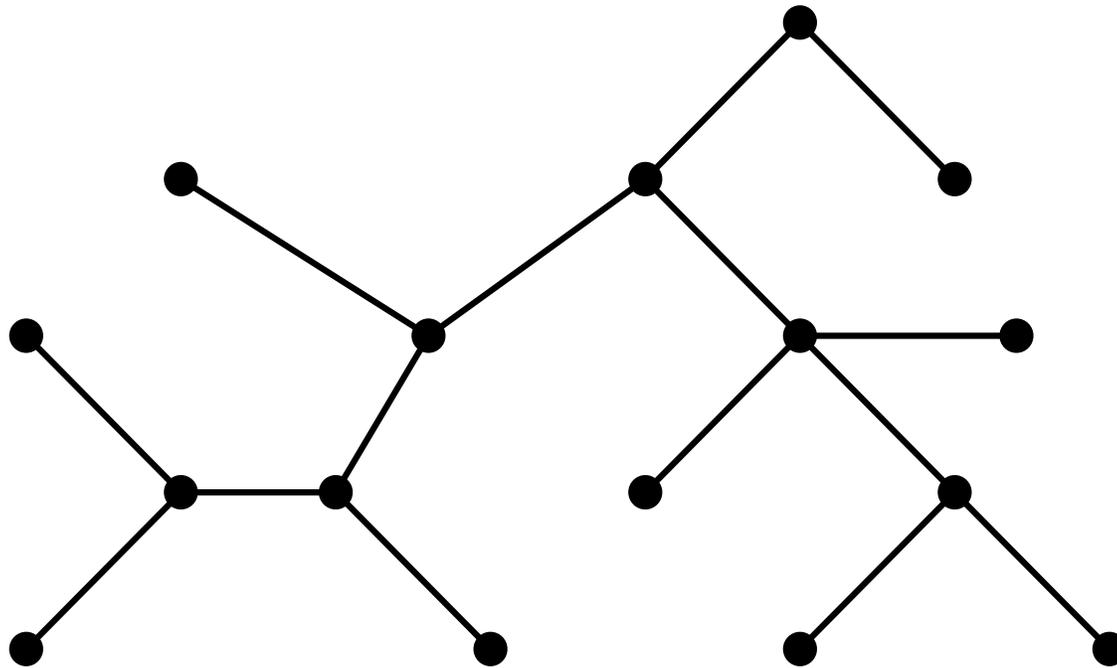
始点と終点が一致している道を閉路と呼ぶ。
始点と終点が一致している有向道を有向閉路と呼ぶ。



木

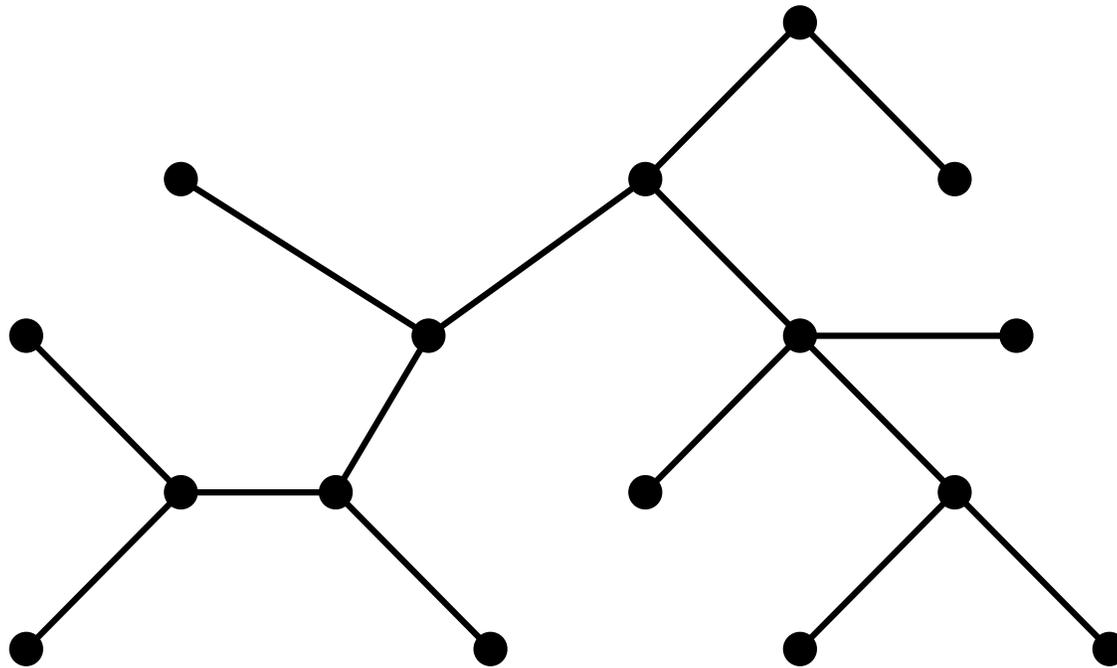
木

図のようなグラフは木と呼ばれる。



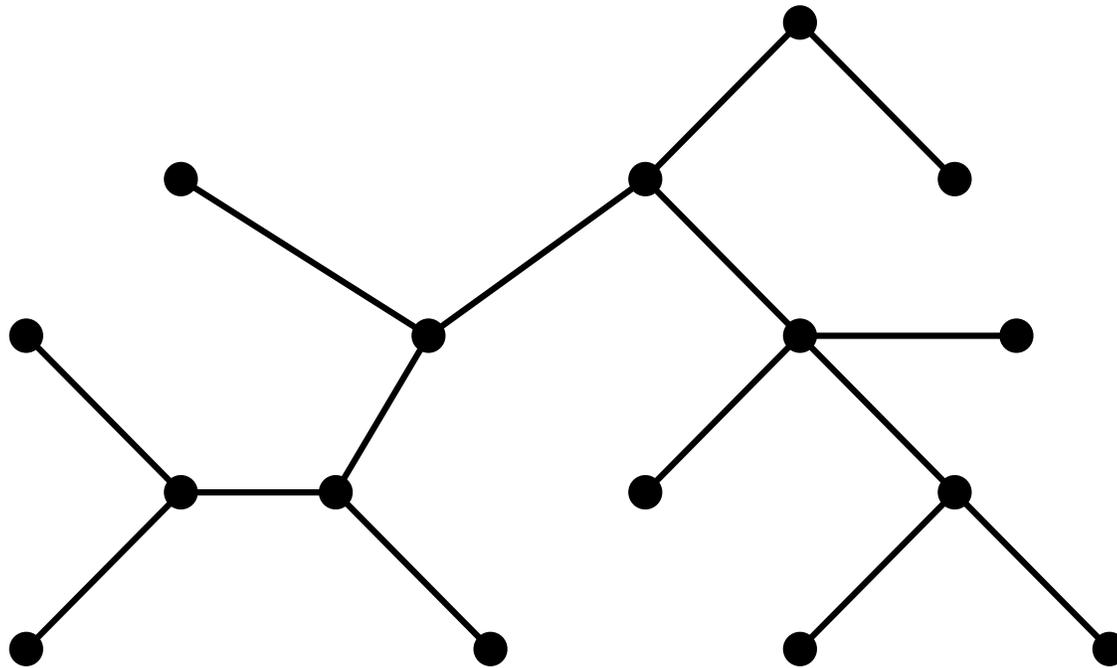
木

図のようなグラフは木と呼ばれる。もっと正確には、閉路が無くて連結なグラフを木と呼ぶ。



木

図のようなグラフは木と呼ばれる。もっと正確には、閉路が無くて連結なグラフを木と呼ぶ。

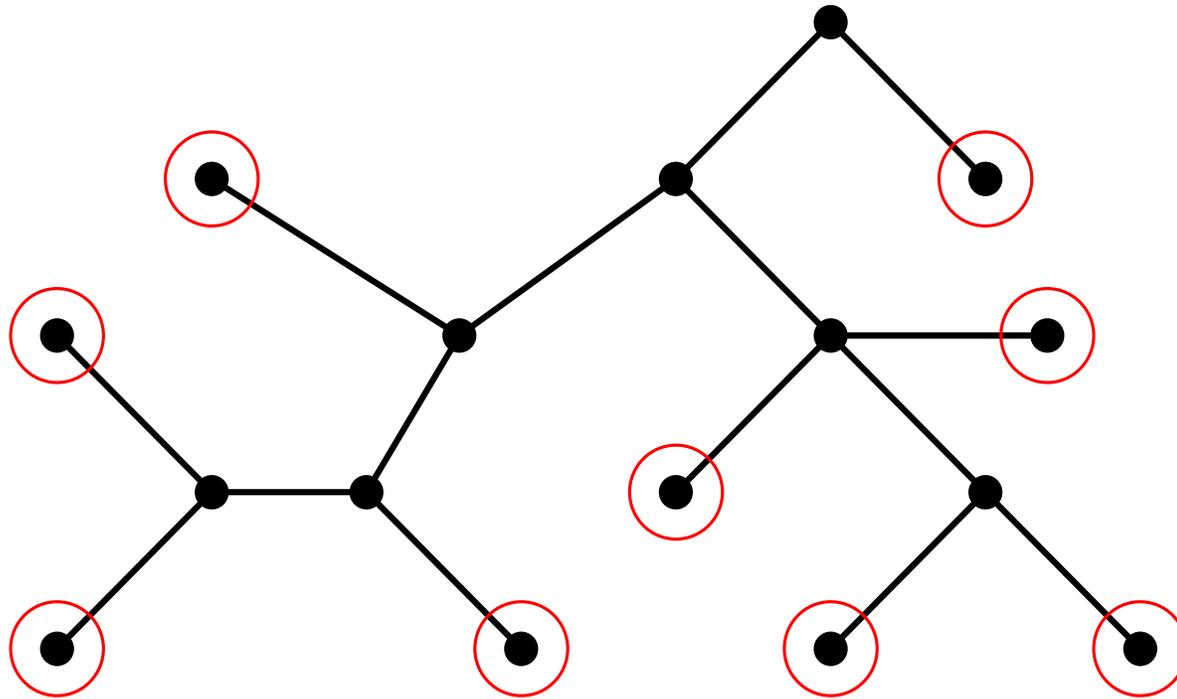


点の数が n の木の枝の本数は $n - 1$ である。(なぜか?)

木 (続き)

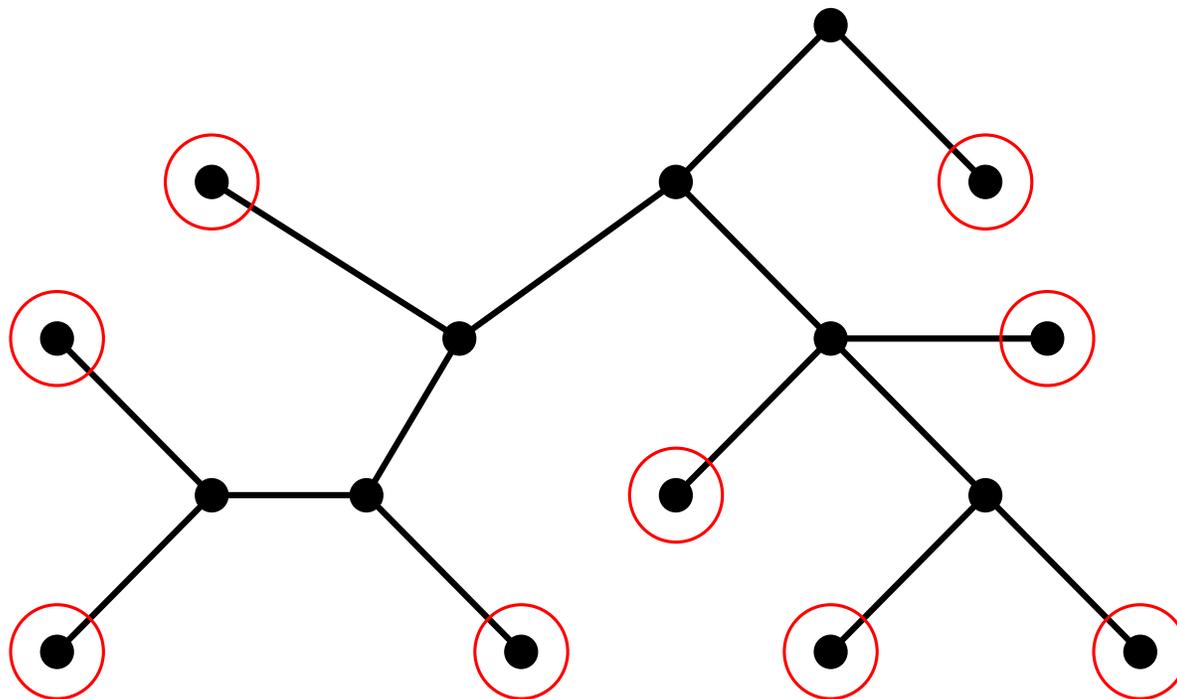
木 (続き)

木において, 次数が1であるような点は**葉**と呼ばれる.



木 (続き)

木において, 次数が1であるような点は**葉**と呼ばれる.

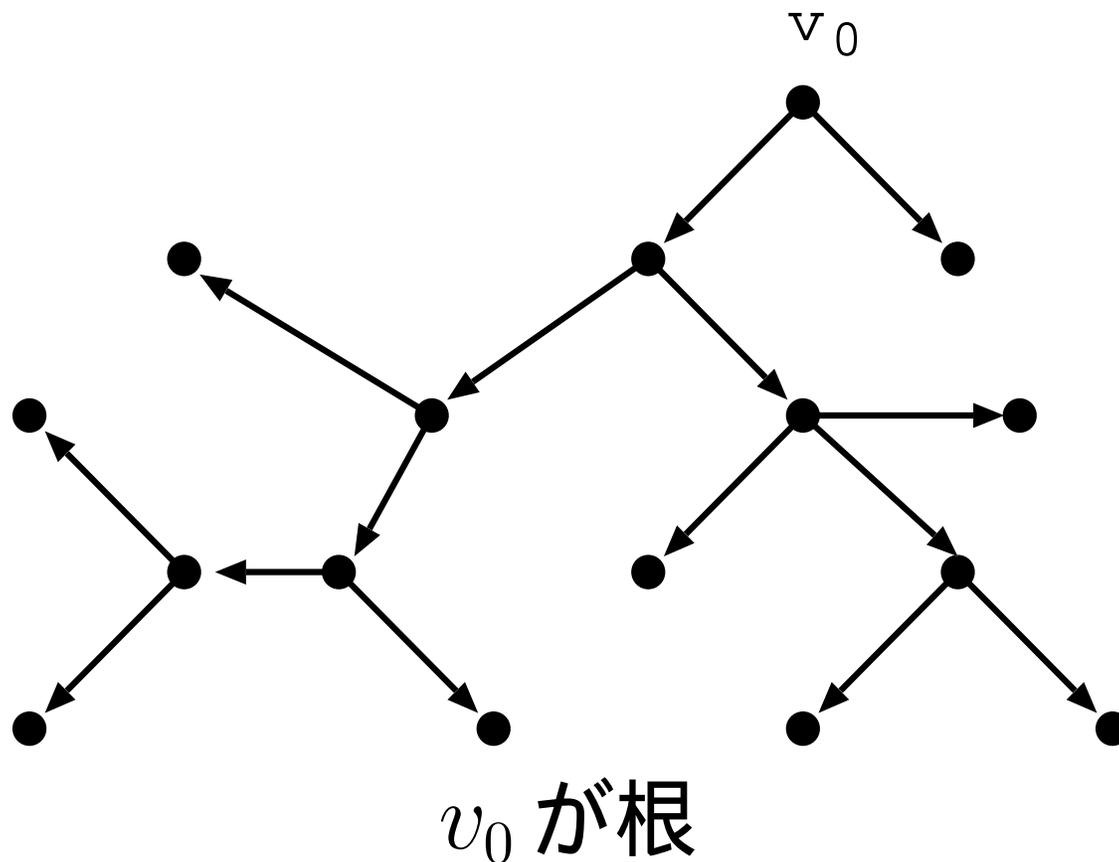


木には必ず葉が存在する. (なぜか?)

有向木

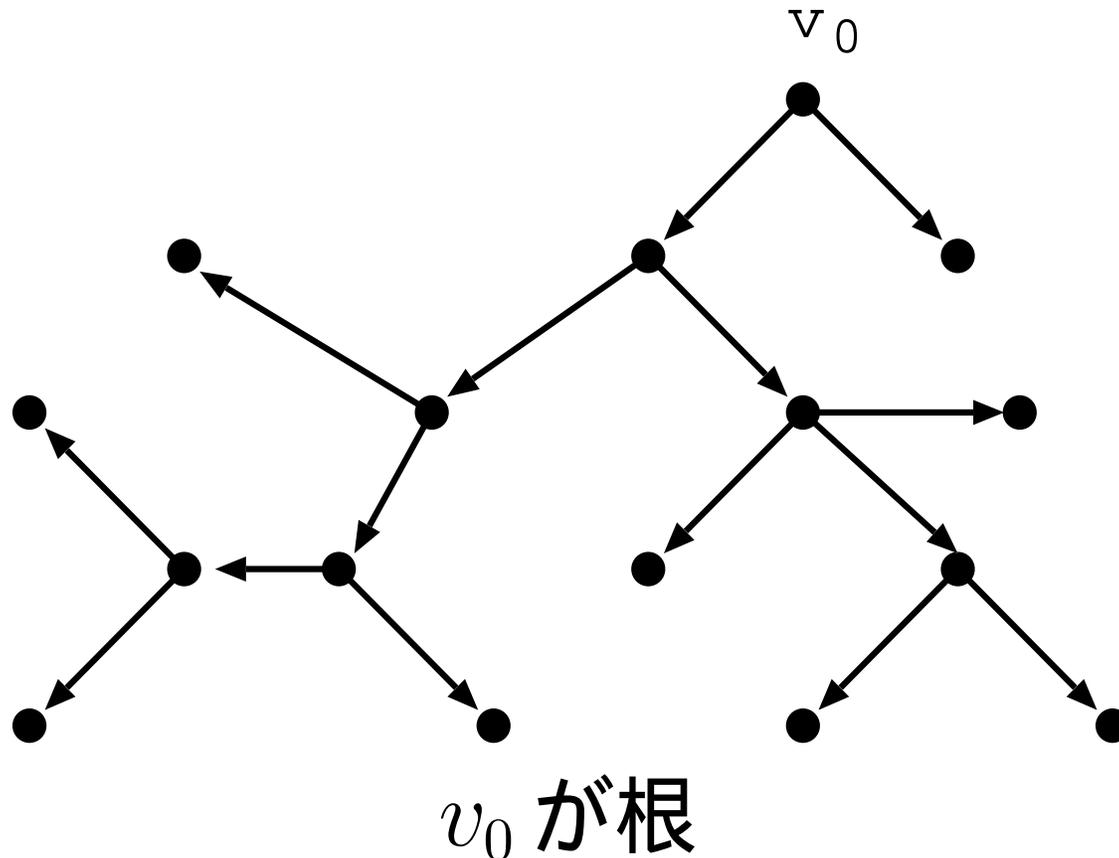
有向木

図のような有向グラフを有向木と呼ぶ.



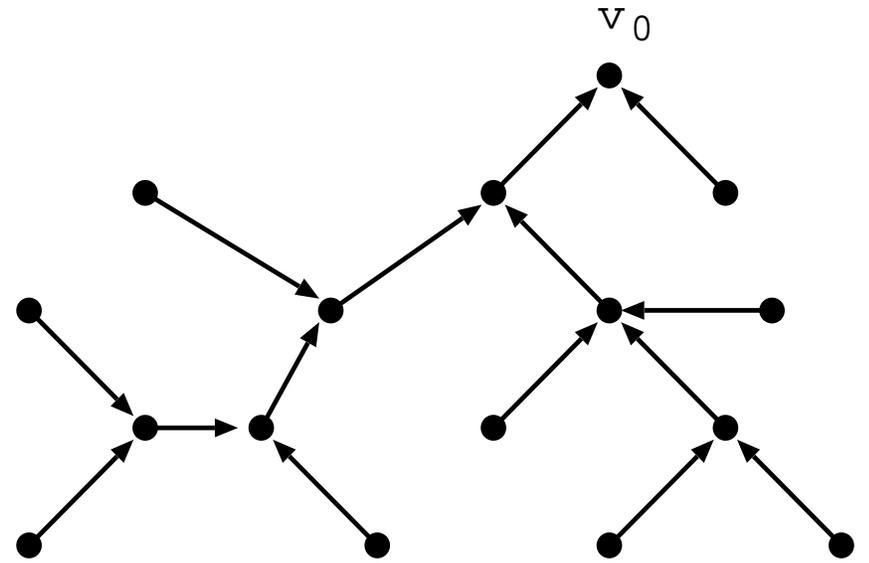
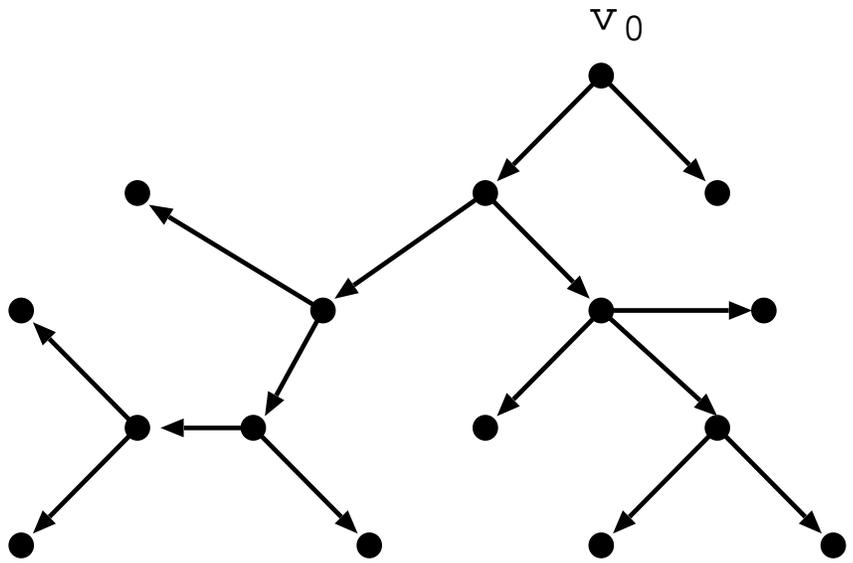
有向木

図のような有向グラフを有向木と呼ぶ。有向木では根と呼ばれる1点以外にはちょうど1本の枝が入り、根には入る枝はない。

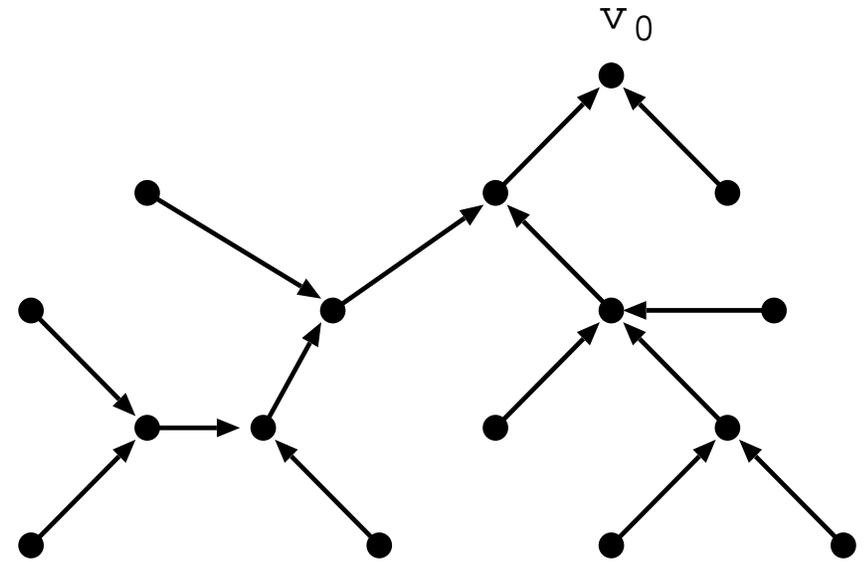
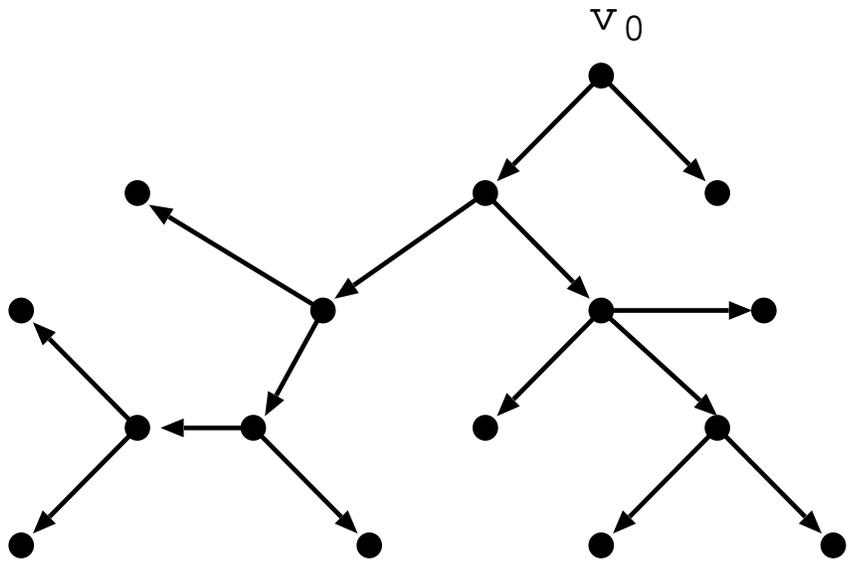


有向木 (続き)

有向木 (続き)

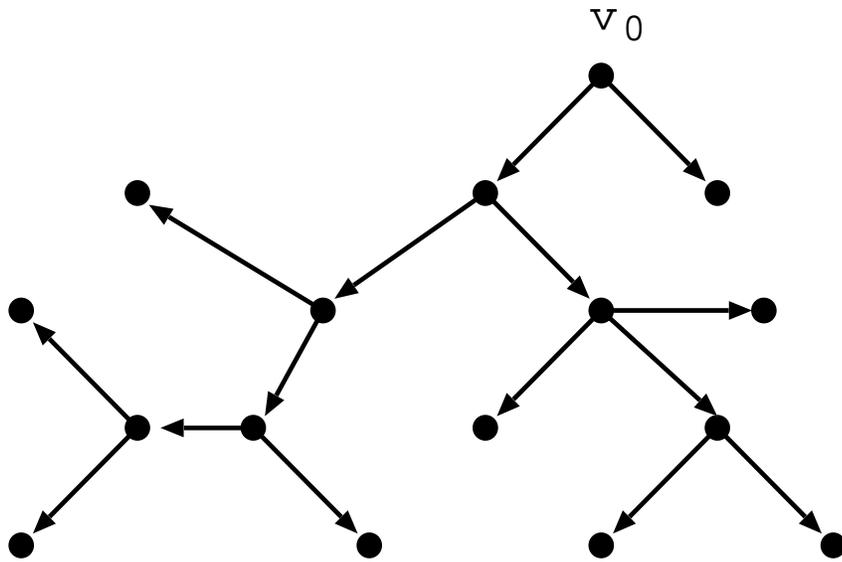


有向木 (続き)

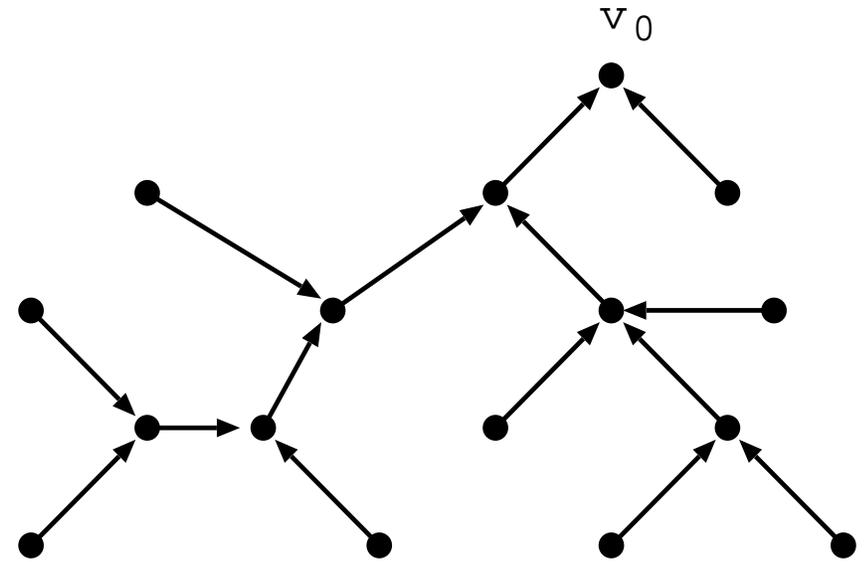


内向木

有向木 (続き)



外向木

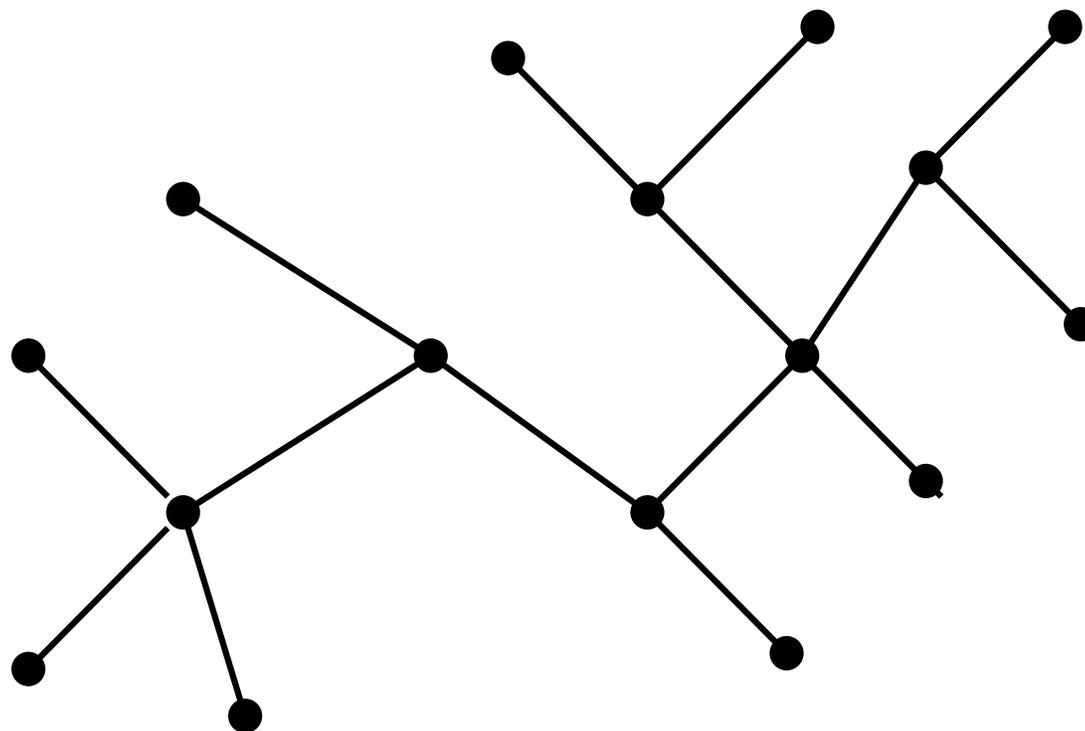


内向木

根付き木

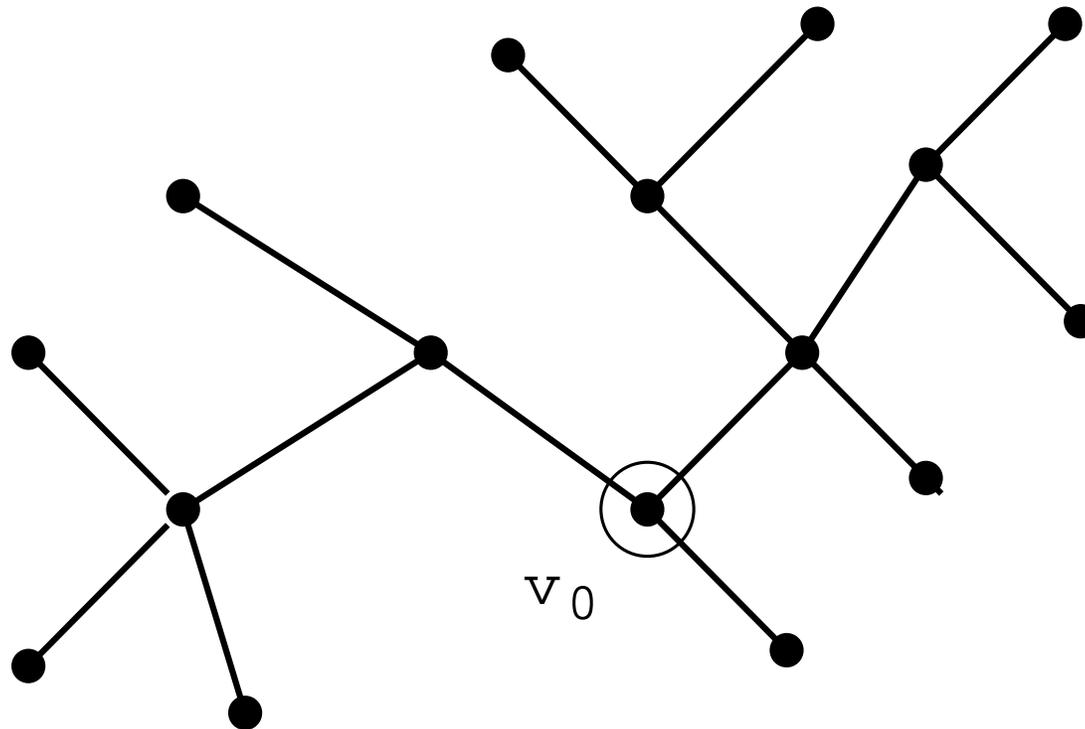
根付き木

無向グラフとしての木を考える.



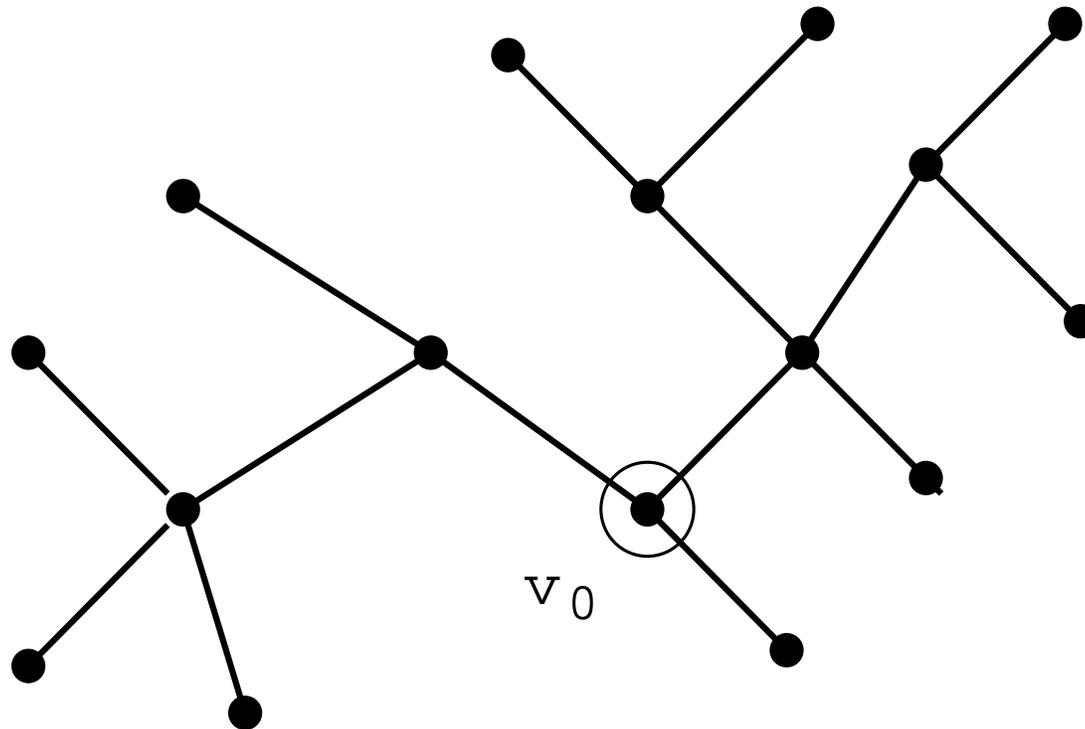
根付き木

無向グラフとしての木を考える。1点を選んで、それを根と考えることができる。



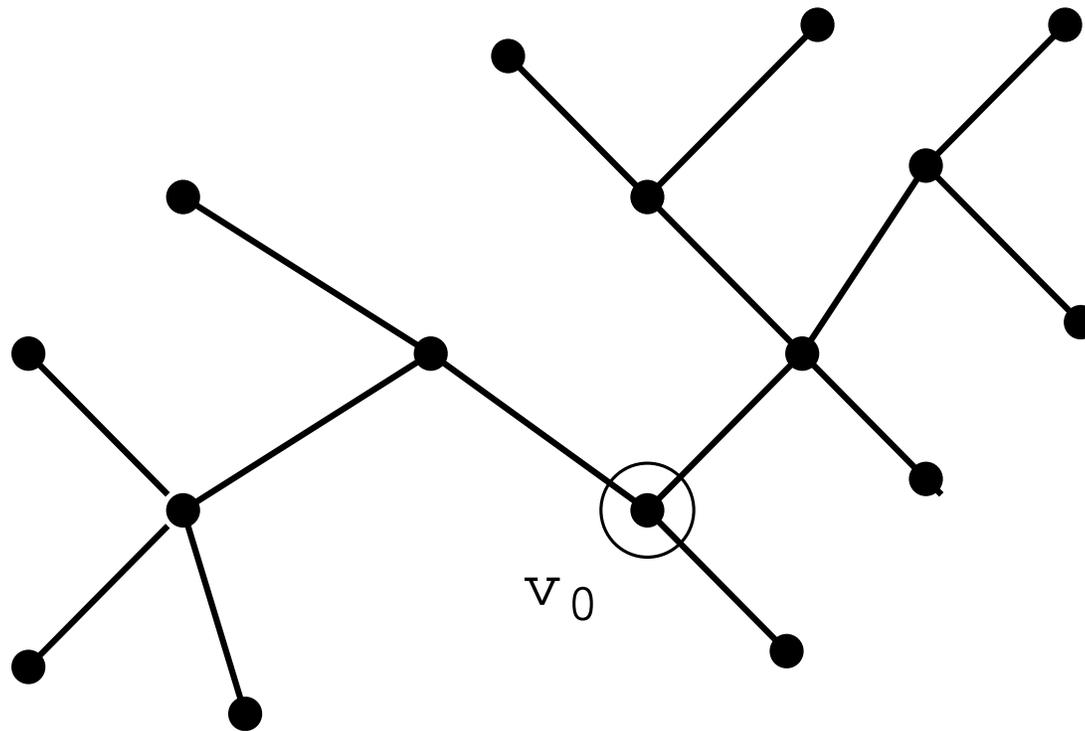
根付き木

無向グラフとしての木を考える。1点を選んで、それを根と考えることができる。



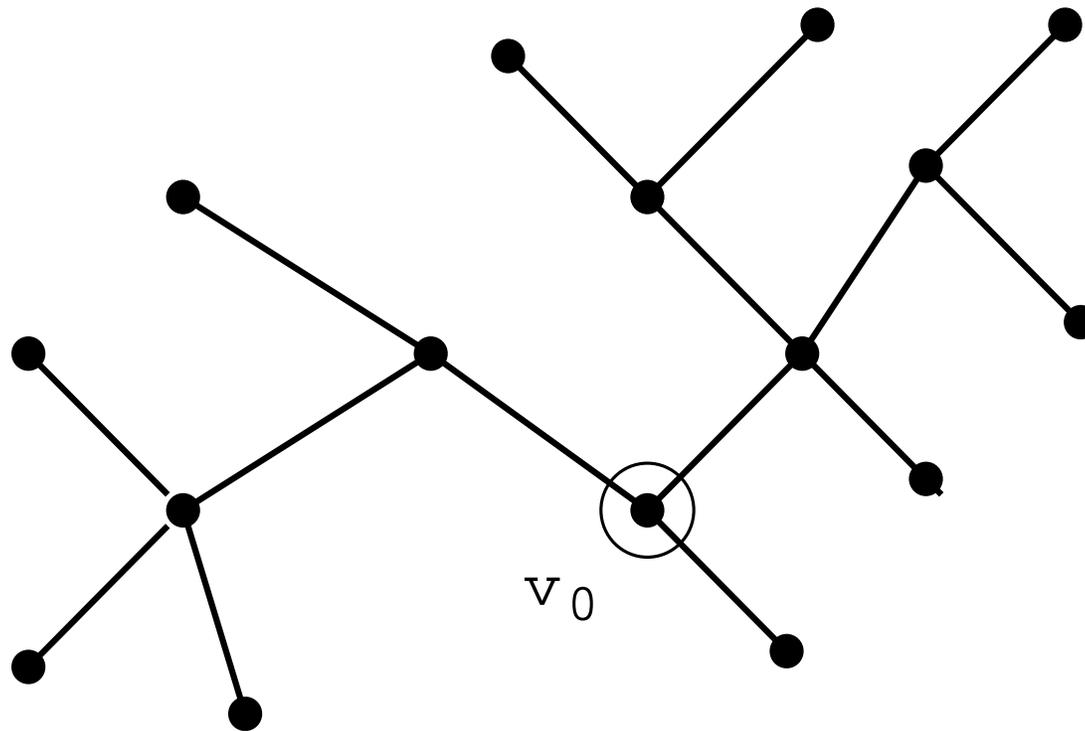
根が指定された木を根付き木と呼ぶ。

根付き木 (続き)



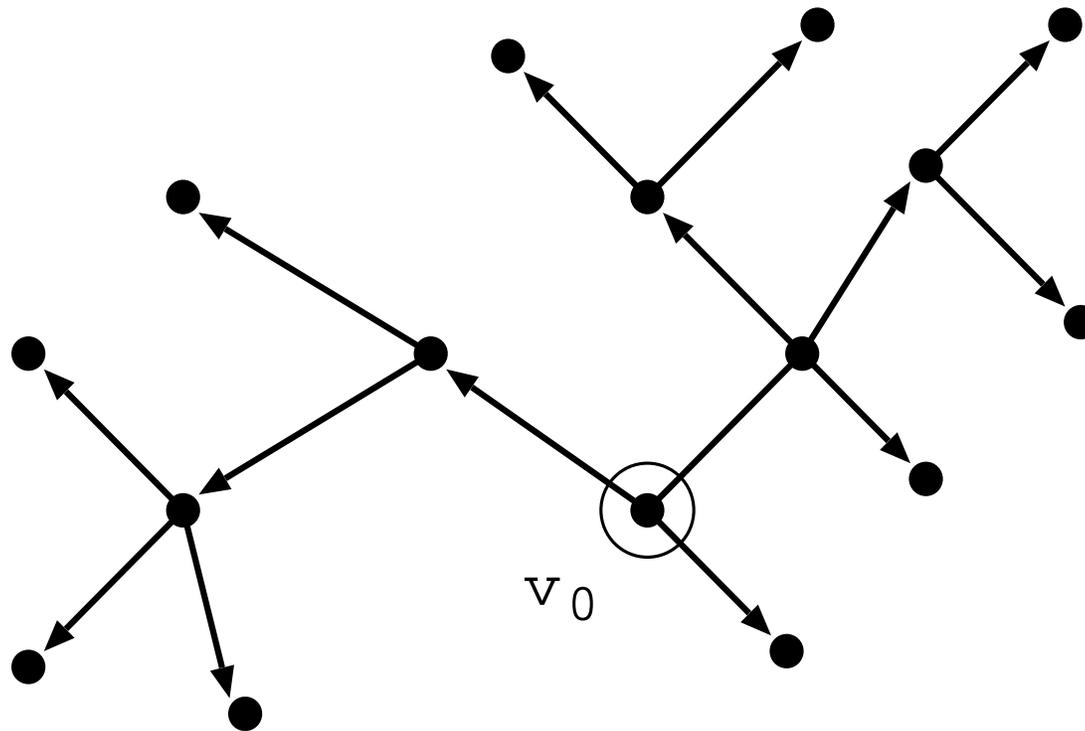
根付き木 (続き)

v_0 を根とする根付き木は,



根付き木 (続き)

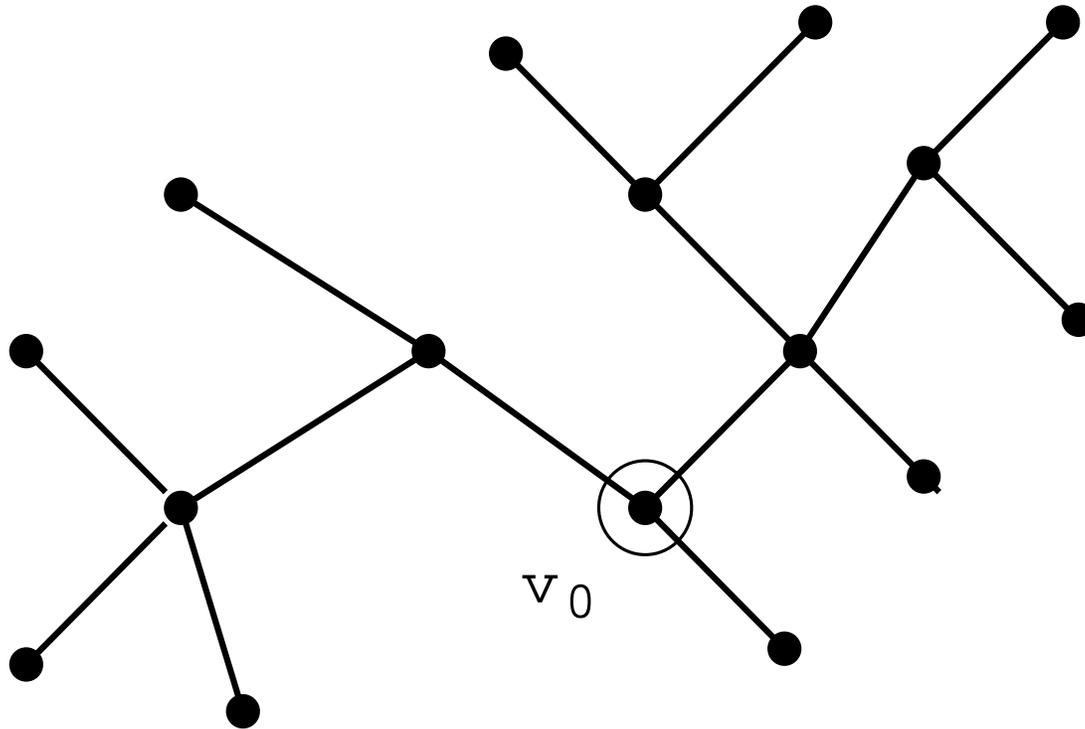
v_0 を根とする根付き木は, 外向木 (または内向木) と考えることもできる.



根付き木 (続き)

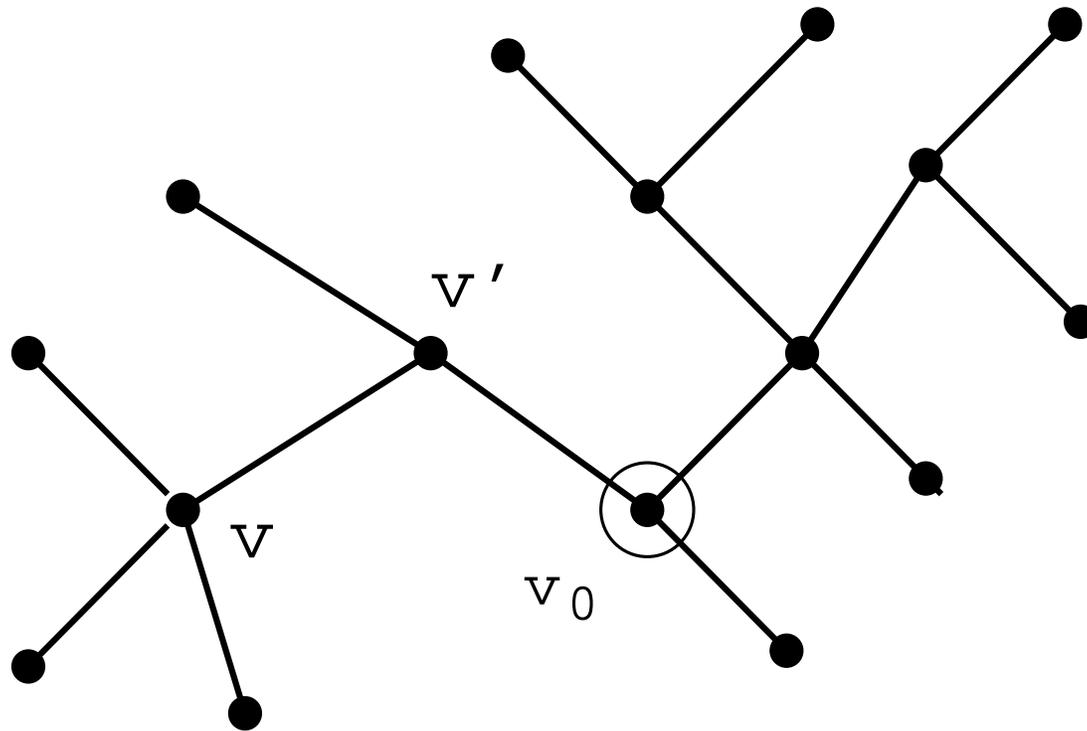
根付き木 (続き)

v_0 を根とする根付き木 (あるいは, 有向木) を考える.



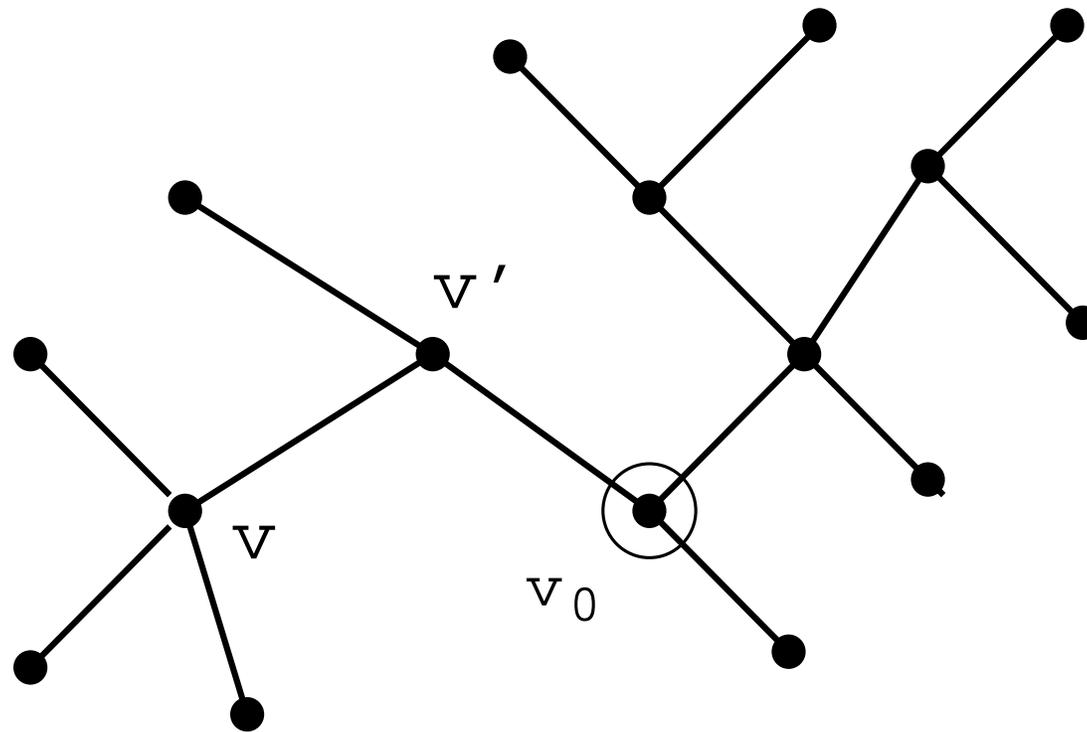
根付き木 (続き)

v_0 を根とする根付き木 (あるいは, 有向木) を考える. v に隣接する点で, v から v_0 へ至る道上の点にある点を v' とする.



根付き木 (続き)

v_0 を根とする根付き木 (あるいは, 有向木) を考える. v に隣接する点で, v から v_0 へ至る道上の点にある点を v' とする.



v' は v の親, v は v' の子